

令和6年度 地域公共交通等調査特別委員会 活動報告

令和6年度中における地域公共交通等調査特別委員会の活動状況について、本書のとおり報告します。

令和7年3月18日

墨田区議会議長

佐藤 篤 様

地域公共交通等調査特別委員長

加納 進

1 委員会の目的

地域公共交通計画に関すること、区内循環バスの在り方、シェアサイクル等をはじめとする新たな交通手段及び自転車駐車場に関する諸問題について、総合的に調査し、対策を検討する。

2 委員会の開会実績

(1) 特別委員会

回数	開会日時	調査内容
第1回	令和6年 5月29日 13:30~13:33	1 委員長の互選について 2 副委員長の互選について 3 次回の委員会の開会日時について
第2回	6月17日 15:06~15:14	1 令和6年度地域公共交通等調査特別委員会運営方針について 2 次回の委員会の開会日時について
第3回	7月19日 13:00~13:02 (終了後、勉強会)	1 管外行政調査について 2 次回の委員会の開会日時について
管外行政調査	7月29日	1 MaaSについて(群馬県前橋市) ・MaeMaaS(前橋版MaaS)の取組について
第4回	8月26日 13:00~14:08	1 「(仮称)墨田区地域公共交通計画」策定の進捗状況について 2 本委員会の今後の進め方について
第5回	10月31日 13:00~14:15	1 すみだの公共交通のあるべき姿に関する提言書(案)について 2 次回の委員会の開会日時について 3 現地(区内施設)調査について

第6回	11月14日 13:00~13:18	1 自転車駐車場等の現状について (1) 特定自転車駐車場の利用率及び分布図について (2) 墨田区自転車活用推進計画における自転車ネットワーク計画について (3) シェアリング事業者 サイクルポート分布図について (4) 京成曳舟駅前交通広場等の整備について 2 次回の委員会の開会日時について
現地調査	11月14日 (委員会終了後)	1 区内循環バス停留所の現況について 2 自転車駐車場の現況について 3 交通広場の現況について
第7回	12月12日 13:00~14:14	1 「(仮称)墨田区地域公共交通計画」(案)について 2 自転車駐車場等に関する意見の取りまとめについて
第8回	令和7年 1月31日 13:00~14:54	1 駐輪環境の充実等に関する提言書(素案)について 2 次回の委員会の開会日時について
第9回	3月18日 15:00~15:27	1 「墨田区地域公共交通計画」について 2 区内循環バス事業の見直しの進め方について 3 令和6年度地域公共交通等調査特別委員会 活動報告について 4 閉会中の継続調査について

(2) 勉強会

回数	開会日時	協議内容
第1回	令和6年 7月19日 13:08~15:29	1 地域公共交通計画について 2 区内循環バスの在り方について 3 住民との意見交換会に係る検討シートについて
第2回	9月12日 9:56~11:13	1 本日の流れについて 2 検討シートについて 3 複数会派から提案されている事項及び特に重要と思われる事項の抽出について 4 次回の勉強会の開会日時について
第3回	10月3日 12:58~15:25	1 すみだの公共交通のあるべき姿に関する提言書(たたき台)について 2 次回の勉強会について
第4回	10月29日 9:58~11:20	1 すみだの公共交通のあるべき姿に関する提言書(案)について 2 次回の特別委員会の開会日時について 3 自転車駐車場の現状等について
第5回	令和7年 1月22日 13:00~15:26	1 駐輪環境の充実等に関する提言書素案について 2 次回の特別委員会の開会日時について

3 各種実施状況

項目			実施状況
先進自治体等への行政調査			○
議会基本 条例関連	13条	委員間討議	○
		議事堂以外での委員会開会	
		区民等との意見交換会等	
	14条	条例案の提出その他の政策立案及び政策提言の積極的な実施	○
	19条	公聴会及び参考人制度の活用	
		学識経験者等による専門的事項に関わる調査	
		議会のパブリック・コメント	
22条	委員会における研修会		

実施概要

- 1 先進自治体等への行政調査（令和6年7月29日）
 - ・群馬県前橋市：・M a e M a a S（前橋版M a a S）の取組について
現地（区内施設）調査（11月14日）
 - ・区内循環バス停留所（すみだ保健子育て総合センター・横川コミュニティ会館前停留所）
 - ・錦糸町駅北口地下自転車駐車場
 - ・京成曳舟駅前交通広場
- 2 委員間討議（協議）
 - ・すみだの公共交通のあるべき姿に関する提言書を作成するに当たり、勉強会及び委員会において委員間討議（協議）を行い、各会派の意見を取りまとめた。
 - ・駐輪環境の充実等に関する提言書を作成するに当たり、勉強会及び委員会において委員間討議（協議）を行い、各会派の意見を取りまとめた。
- 3 条例案の提出その他の政策立案及び政策提言の積極的な実施
 - ・「すみだの公共交通のあるべき姿に関する提言書 -（仮称）墨田区地域公共交通計画の策定に向けて-」を取りまとめ、委員長から議長へ、議長から区長へ提出した。（10月31日）
 - ・「駐輪環境の充実等に関する提言書」を取りまとめ、委員長から議長へ（令和7年1月31日）議長から区長へ提出した。（2月3日）

4 委員長所見（今年度の委員会活動状況、次年度も本委員会を継続して設置する必要性など）

本委員会は、令和6年5月29日に、地域公共交通計画に関すること、区内循環バスの在り方、シェアサイクル等をはじめとする新たな交通手段及び自転車駐車場に関する諸問題について、総合的に調査し、対策を検討することを目的に設置され、今年度は「すみだの公共交通等のあるべき姿を検討する」をテーマとして、調査・検討を行った。

まず、地域公共交通計画に関すること、区内循環バスの在り方及びシェアサイクル等をはじめとする新たな交通手段に関することについて、具体的な調査・検討を開始するに当たり、7月19日開会の勉強会では、新たに策定される地域公共交通計画、これまでの経緯を含めた区内循環バスの在り方について、理事者から説明を聴取し、意見交換を通じて本区の現状把握を行った。

7月29日には、MaaSの先進事例として、群馬県前橋市のMa e MaaS(前橋版MaaS)の取組について行政調査を行い、MaaSの現状について確認した。また、8月26日開会の委員会では、「(仮称)墨田区地域公共交通計画」策定の進捗状況について、理事者から説明を聴取し、質疑応答を行った。

以上の調査内容を踏まえ、当委員会の意見を、「(仮称)墨田区地域公共交通計画」に反映させるため、9月12日から延べ3回にわたって勉強会を開会し、本区の公共交通のあるべき姿について委員間討議(協議)を重ね、10月31日開会の委員会において「すみだの公共交通のあるべき姿に関する提言書 - (仮称)墨田区地域公共交通計画の策定に向けて - 」を取りまとめた。提言書は、同日、区長へ提出するとともに、提言の実現に向けて検討するよう申し入れた。

12月12日開会の委員会では、提言に対する区の考え方を聴取し、質疑を行った。その際、提言書記載の大部分が「(仮称)墨田区地域公共交通計画」(案)の策定に反映される見込みであることが確認できた。計画策定前に提言書を提出することは、これまで前例もなく、画期的なことで、各委員としては極めて大変な取組ではあったが、当委員会としては大きな成果を挙げることができたものと認識している。なお、令和7年3月18日開会の委員会では、パブリック・コメントの結果を踏まえて策定された「墨田区地域公共交通計画」について、改めて説明を聴取したところである。併せて、区内循環バス事業の見直しの進め方についても、理事者から説明を聴取し、質疑応答を行ったところである。

更に、自転車駐車場等に関することについて、具体的な調査・検討を開始するに当たり、10月29日開会の勉強会で、自転車駐車場等の現状について、理事者から説明を聴取し、意見交換を通じて本区の現状把握を行った。続いて、11月14日開会の委員会では、具体的な4つの項目(特定自転車駐車場の利用率及び分布図について、墨田区自転車活用推進計画における自転車ネットワーク計画について、シェアリング事業者 サイクルポート分布図について、京成曳舟駅前交通広場等の整備)について、理事者から説明を聴取し、質疑応答を行った。併せて、同日の委員会終了後、区内循環バスなどの公共交通機関を利用して、現地(区内施設)調査を行い、実際に現場を確認することで問題点等の現状把握を行った。

以上の調査内容を踏まえ、本区の駐輪環境の充実等について、低利用の交通広場の改善について及びシェアサイクル等についてどうすべきなのか、当委員会の意見を取りまとめるため、令和7年1月22日に勉強会を開会し、これらについて委員間討議(協議)を重ね、1月31日開会の委員会において「駐輪環境の充実等に関する提言書」を取りまとめた。提言書は、2月3日に区長へ提出するとともに、提言の実現に向けて検討するよう申し入れた。

以上のとおり、本委員会の委員長としては、調査事項に関して、これまで重ねてきた協議と綿密な調査・検討の結果を踏まえ、極めてタイトなスケジュールだったが、1つの委員会で2つの提言書を取りまとめることができた。議会として、これらの提言書に対する執行機関の対応状況等を中・長期的に見守り続けるほか、来年度に区内循環バスの見直しについて具体的な検討が行われることから、来年度も引き続き、本委員会で区内循環バスの在り方については、調査・検討を行っていく内容であると考えている。しかしながら、来年度の本委員会の在り方については、他の特別委員会の状況、区を取り巻く社会情勢等を踏まえて、しかるべき場において改めて検討されることを望むものである。